

【 現状と課題 】

東西に230kmと細長い県土。移動時間の大きさは県内交流を阻害

安来 津和野約230km、所要時間約4.5時間。唯一結ぶのは「2車線」の国道9号
公共交通機関が未発達で旅客輸送のほとんどを車に依存

島根県の旅客輸送は97%を車に依存。 東京：32%、全国平均：74%
島根の豊かな観光資源が十分生かされていない

東西を周遊する観光ルートが形成されない為、資源が十分に生かされていない。
供用率の低さ(47%)に加え、ネットワーク化されていない

計画延長283kmに対し供用延長133kmと全国平均(69%)に比し大きく遅れている。また山陰道・松江道がネットワーク化されていないためその効果が極めて限定的。
高度・専門的医療機関への所要時間の短縮が課題

県央地域から出雲市の県立中央病院(第3次救急医療機関)への東西搬送は、国道9号が唯一のルート。一旦災害、事故等が発生すると大幅な時間が掛かり、助かる命さえ助からない。

地域産業の競争力強化支援の為、物流の円滑化が必要

特産の島根ぶどうは、山陰道の整備により輸送時間が短縮され東京市場への出荷が増加。
また浜田漁港では、H3年の浜田道開通以来「ぶり」の出荷量が約20倍に拡大。現在、ICから30分以内で到達できる地域は県土の36%。

【 本県の取組状況・方針 】

県財政の厳しい中においても、高速道路関連事業を優先施策として順位付け
事業の前提となる都市計画決定作業に対する体制強化と、地元市町村等一体となった取
り組み

用地取得事務の受託(新直轄事業および用地国債)

高速道路の必要性を県内外の方に広く理解して頂くことを目的とした官民一体となった
各種広報の実施

【 提案要望の効果 】

有事の際、武力攻撃事態への対応及び国民保護活動を的確かつ迅速に実施するために必要不可欠。

「自立的に発展できる快適で活力ある島根の国造り」の基盤となる高速道路網の整備により、広域交流が促進され産業の活性化や観光の促進、また、移動時間短縮による地域医療環境の向上が図られる。

事故・災害時に東西を結ぶ国道9号の代替道路等としての機能が期待される。



移動時間の大幅な短縮効果



事故・災害時の代替道路として機能